

■ 図表3-1 障害の種類別・性別にみた身体障害児・者の状況

身体障害者 (18歳以上) (在宅) 単位：千人 (%)

障害の種類	総数	性別		
		男	女	不詳
総数	3,483 (100.0)	1,869 (53.7)	1,562 (44.8)	51 (1.5)
視覚障害	310 (100.0)	144 (46.5)	162 (52.3)	4 (1.3)
聴覚・言語障害	343 (100.0)	169 (49.3)	165 (48.1)	9 (2.6)
聴覚障害	276 (100.0)	124 (44.9)	146 (52.9)	6 (2.2)
平衡機能障害	25 (100.0)	12 (48.0)	11 (44.0)	1 (4.0)
音声・言語・そしゃく機能障害	42 (100.0)	33 (78.6)	7 (16.7)	2 (4.8)
肢体不自由	1,760 (100.0)	899 (51.1)	835 (47.4)	25 (1.4)
上肢切断	82 (100.0)	65 (79.3)	15 (18.3)	2 (2.4)
上肢機能障害	444 (100.0)	261 (58.8)	181 (40.8)	3 (0.7)
下肢切断	60 (100.0)	42 (70.0)	17 (28.3)	1 (1.7)
下肢機能障害	627 (100.0)	275 (43.9)	343 (54.7)	8 (1.3)
体幹機能障害	153 (100.0)	87 (56.9)	64 (41.8)	2 (1.3)
脳原性全身性運動機能障害	58 (100.0)	33 (56.9)	25 (43.1)	— (—)
全身性運動機能障害 (多肢及び体幹)	337 (100.0)	137 (40.7)	190 (56.4)	9 (2.7)
内部障害	1,070 (100.0)	657 (61.4)	400 (37.4)	13 (1.2)
心臓機能障害	595 (100.0)	354 (59.5)	234 (39.3)	7 (1.2)
呼吸器機能障害	97 (100.0)	69 (71.1)	28 (28.9)	1 (1.0)
じん臓機能障害	234 (100.0)	145 (62.0)	87 (37.2)	3 (1.3)
ぼうこう・直腸機能障害	135 (100.0)	83 (61.5)	49 (36.3)	2 (1.5)
小腸機能障害	8 (100.0)	7 (87.5)	2 (25.0)	— (—)
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	1 (100.0)	— (—)	1 (100.0)	— (—)
重複障害 (再掲)	310 (100.0)	195 (62.9)	109 (35.2)	5 (1.6)

身体障害児 (18歳未満) (在宅) 単位：人 (%)

障害の種類	総数	性別		
		男	女	不詳
総数	93,100 (100.0)	49,500 (53.2)	43,600 (46.8)	— (—)
視覚障害	4,900 (100.0)	2,200 (44.9)	2,800 (57.1)	— (—)
聴覚・言語障害	17,300 (100.0)	9,000 (52.0)	8,400 (48.6)	— (—)
聴覚障害	15,800 (100.0)	8,000 (50.6)	7,700 (48.7)	— (—)
平衡機能障害	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
音声・言語・そしゃく機能障害	1,500 (100.0)	900 (60.0)	600 (40.0)	— (—)
肢体不自由	50,100 (100.0)	28,800 (57.5)	21,300 (42.5)	— (—)
上肢切断	300 (100.0)	— (—)	300 (100.0)	— (—)
上肢機能障害	11,800 (100.0)	8,000 (67.8)	3,700 (31.4)	— (—)
下肢切断	900 (100.0)	300 (33.3)	600 (66.7)	— (—)
下肢機能障害	7,100 (100.0)	4,000 (56.3)	3,100 (43.7)	— (—)
体幹機能障害	8,400 (100.0)	3,700 (44.0)	4,600 (54.8)	— (—)
脳原性全身性運動機能障害	11,400 (100.0)	7,400 (64.9)	4,000 (35.1)	— (—)
全身性運動機能障害 (多肢及び体幹)	10,200 (100.0)	5,300 (52.0)	4,900 (48.0)	— (—)
内部障害	20,700 (100.0)	9,600 (46.4)	11,100 (53.6)	— (—)
心臓機能障害	15,200 (100.0)	7,400 (48.7)	7,700 (50.7)	— (—)
呼吸器機能障害	1,900 (100.0)	900 (47.4)	900 (47.4)	— (—)
じん臓機能障害	1,500 (100.0)	900 (60.0)	600 (40.0)	— (—)
ぼうこう・直腸機能障害	1,200 (100.0)	— (—)	1,200 (100.0)	— (—)
小腸機能障害	600 (100.0)	300 (50.0)	300 (50.0)	— (—)
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	300 (100.0)	— (—)	300 (100.0)	— (—)
重複障害 (再掲)	15,200 (100.0)	8,700 (57.2)	6,500 (42.8)	— (—)

(注) () 内は構成比 資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成18年)

■ 図表3-2 障害の疾患別にみた身体障害児・者数

身体障害者（18歳以上）（在宅）

単位：千人（％）

総数	脳性マヒ	脊髄性小児マヒ	脊髄損傷Ⅰ（対マヒ）	脊髄損傷Ⅱ（四肢マヒ）	進行性筋萎縮性疾患	脳血管障害	脳挫傷	その他の脳神経疾患	骨関節疾患	リウマチ性疾患	中耳性疾患	内耳性疾患
3,483 (100.0)	54 (1.6)	43 (1.2)	33 (1.0)	24 (0.7)	21 (0.8)	273 (7.8)	11 (0.3)	73 (2.1)	238 (6.8)	97 (2.8)	32 (0.9)	45 (1.3)

角膜疾患	水晶体疾患	網脈絡膜・視神経系疾患	じん臓疾患	心臓疾患	呼吸器疾患	ぼうこう疾患	大腸疾患	小腸疾患	後天性免疫不全症候群	その他	不明	不詳
19 (0.5)	11 (0.3)	84 (2.4)	163 (4.7)	350 (10.0)	56 (1.6)	20 (0.6)	51 (1.5)	4 (0.1)	2 (0.1)	286 (8.2)	78 (2.2)	1,414 (40.6)

身体障害児（18歳未満）（在宅）

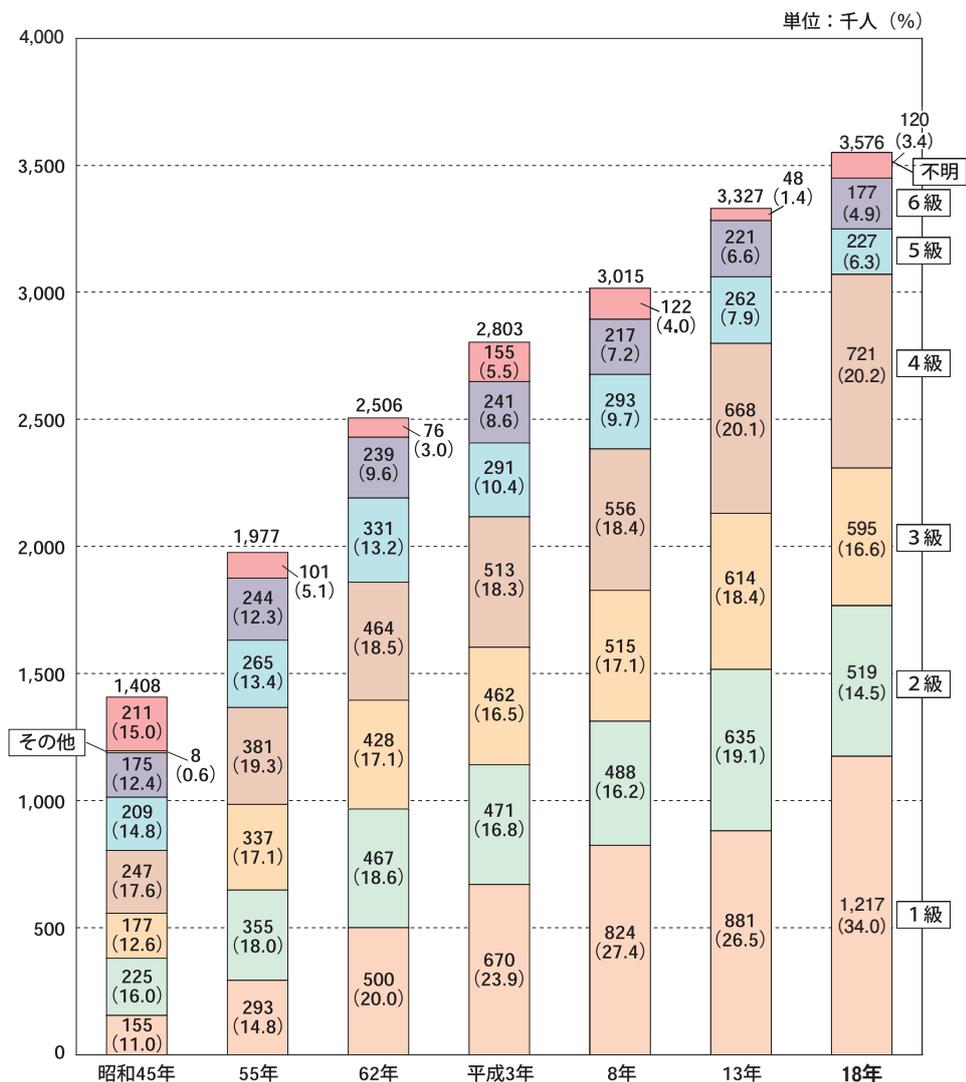
単位：人（％）

総数	脳性マヒ	脊髄性小児マヒ	脊髄損傷Ⅰ（対マヒ）	脊髄損傷Ⅱ（四肢マヒ）	進行性筋萎縮性疾患	脳血管障害	脳挫傷	その他の脳神経疾患	骨関節疾患	中耳性疾患	内耳性疾患	角膜疾患
93,100 (100.0)	24,100 (25.9)	300 (0.3)	900 (1.0)	600 (0.6)	1,500 (1.6)	900 (1.0)	300 (0.3)	3,700 (4.0)	600 (0.6)	300 (0.3)	3,700 (4.0)	300 (0.3)

水晶体疾患	網脈絡膜・視神経系疾患	じん臓疾患	心臓疾患	呼吸器疾患	ぼうこう疾患	大腸疾患	小腸疾患	後天性免疫不全症候群	その他	不明	不詳
— (—)	1,900 (2.0)	1,200 (1.3)	12,400 (13.3)	300 (0.3)	— (—)	300 (0.3)	300 (0.3)	— (—)	16,400 (17.6)	4,600 (5.0)	18,200 (19.5)

（注）（ ）内は構成比 資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」（平成18年）

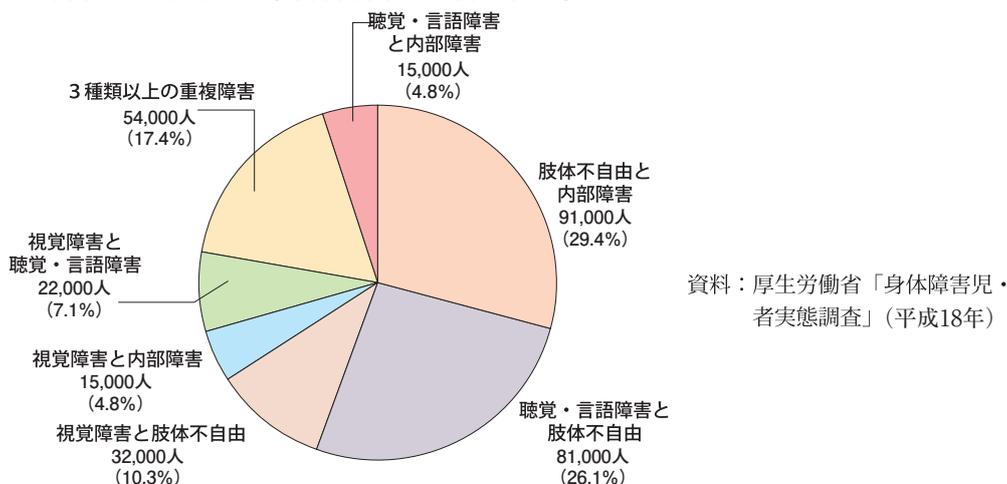
■ 図表3-3 程度別障害者数の推移（身体障害児・者・在宅）



注：昭和55年は身体障害児（0～17歳）に係る調査を行っていない。

資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」

■ 図表3-4 障害の重複状況（身体障害児・者・在宅）



■ 図表3-5 障害の重複状況（知的障害児・者・在宅）（複数回答）

単位：%

視覚障害	聴覚または平衡機能の障害	音声機能、言語機能または、そしゃく機能の障害	肢体不自由	内部障害
16.3	10.7	17.7	68.5	13.2

資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成17年）

■ 図表3-6 障害の程度別にみた知的障害児・者数（在宅）

単位：人（%）

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	419,000 (100.0)	62,400 (14.9)	102,200 (24.4)	106,700 (25.5)	97,500 (23.3)	50,100 (12.0)
知的障害児 (18歳未満)	117,300 (100.0)	22,000 (18.8)	28,100 (23.9)	26,200 (22.4)	33,300 (28.4)	7,700 (6.5)
知的障害者 (18歳以上)	289,600 (100.0)	39,800 (13.7)	73,700 (25.5)	78,700 (27.2)	63,000 (21.8)	34,300 (11.9)
不詳	12,100 (100.0)	600 (5.0)	400 (3.3)	1,800 (15.0)	1,200 (10.0)	8,100 (66.7)

(注) () 内は構成比 資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成17年）

■ 図表3-7 在宅知的障害児・者の療育手帳の所有状況

単位：%

	手帳有	手帳無	不詳
総数	91.0	5.8	3.2
知的障害児(18歳未満)	91.2	8.8	—
知的障害者(18歳以上)	93.4	4.4	2.2
不詳	31.7	11.7	56.7

資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成17年）

■ 図表3-8 精神障害者保健福祉手帳交付台帳登載数（有効期限切れを除く。）（平成23年度末）

単位：人

総数	1級	2級	3級
635,048	95,711	394,283	145,054

資料：厚生労働省「平成23年度衛生行政報告例 結果の概要」より

障害児・者の状況及び障害者施策の状況に関する資料については内閣府ホームページに掲載されています。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/data/h24.html>

<http://www8.cao.go.jp/shougai/data/h25.html>※

（※更新作業中の場合があります。）